

1 展示会場



左側に昆虫と土壌動物、左奥にキノコ、正面に歴史クラブと保全関連資料、右壁に植物とこんぶくろ池写真、右入口壁に昆虫写真、奥行26mの会場

2 展示内容

2.1 昆虫



展示写真 119枚 + クリアファイル分、 標本箱3個、 生きたナミアゲハの幼虫とナナフシモドキ

2.2 キノコ



展示写真 24枚 + 統計資料 + いろいろなきのこ
テーブル展示写真 20枚



26mの壁一面に、写真と標本の組み合わせ及び写真単独の展示（一部抜粋）
標本67個、写真110枚

2.4 その他展示品



土の中にすむ小さな生き物達を展示しました。アドバイザーの先生からお借りした昆虫標本には、特に来場者からオナガアゲハに関する貴重なコメントもあり、情報をいただく良い機会となりました。

SDGsの紹介と当園の保全活動紹介資料



こんぶくろ池
季節の移り変わり



昆虫写真、背景も取り込んだ昆虫の生態を捉えた作品
プロ目線での写真で、展示会の厚みが増しました



歴史クラブ：掩体壕等

3.1キノコ 初日



きのこは、かわいい・美味しいだけじゃない！
きのこも森にはなくてはならない存在という事を
参加の皆様と共有できる良い機会でした。
子供達の好奇心からは、こちらがエネルギーを
いただきました。

3.2 昆虫 2日目



写真 1:アゲハの幼虫の擬態



写真 2: アゲハの幼虫

写真1 アゲハチョウの幼虫が
小鳥の糞に擬態していることを、
実際の幼虫で解説。

写真2 来場した子ども達の
目の前で脱皮をし、終齢となった
アゲハの幼虫。



写真4 昆虫の分類の中で最も種数の多いコウチュウ目を紹介



写真3 漢字の成り立ちから、「虫」とは何であったかを考える。

3.3 キノコ 2日目



写真 5



写真 6



写真 7

きのこ観察会で過去20年間のデータを引き継いでいましたので、なんとかその記録を生かした展示にできないか、と悩みました。グラフに興味を示してくれる方は少なかったですが、ギャラリートークできのこの生態や森とのかかわりを直接説明することができて良かったです。生きもの同士の繋がりを感じて、想像力を膨らませながら、こんぶくろの森を歩いてもらいたいです(と、お願いしました)

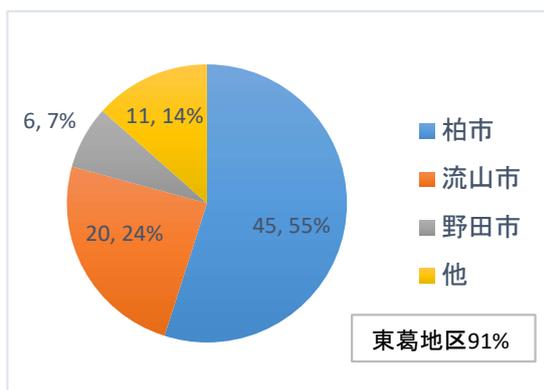


写真9: 植物標本の作成手順と注意点

作成手法は貴重な実践的な内容でした。中でも非常に稀少となっている植物を、標本にするか来年以降の生育を期待するかのコメントでした。迷うことなく、標本として残しなさいとのアドバイザーの先生からのご意見が、非常に強く印象に残りました

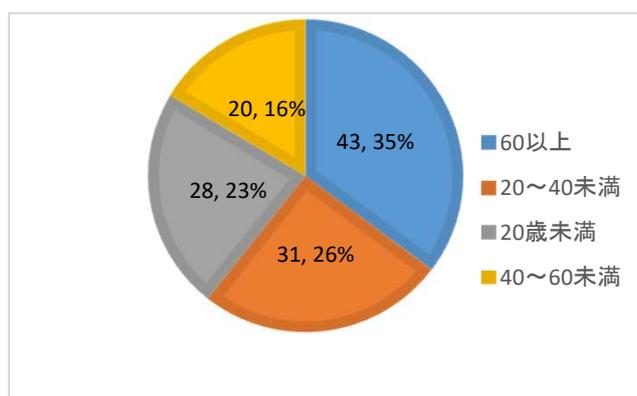
4 来場者 (ご記帳纏め)

4.1 アンケート結果



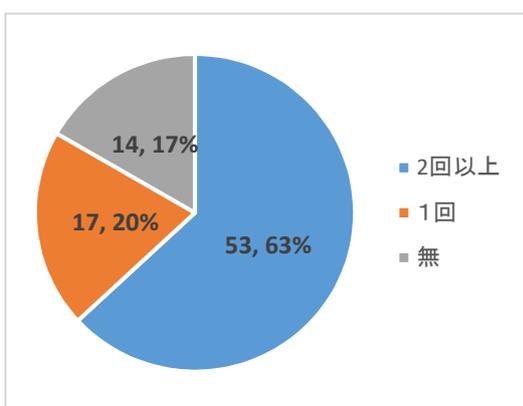
お住まい

柏市の来場者が予想より少ない印象。ご感想にも書かれていますが、柏市あげでの持続可能な社会の構築に注力を・・・。



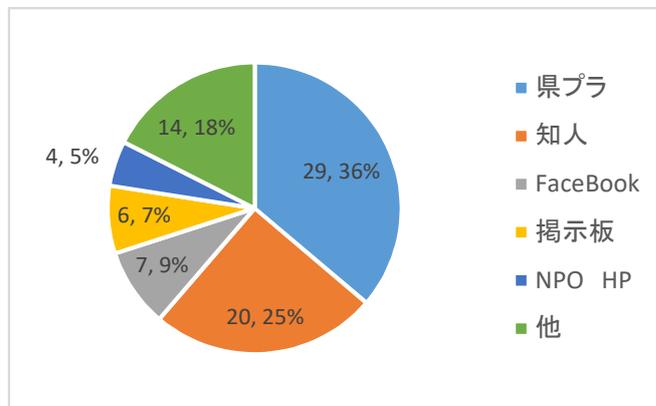
年齢(同伴者含む)

昆虫・キノコ関連の展示があった事から、高齢者の比率がさほど高くなく、親子ずれのご家族が多かった印象通りのデータとなっている。



来園回数

観察会での統計数字よりかなり高いご来園の比率となっている。ある程度興味を持った方のご来場が多かったと推測される



情報源

今回、柏市の広報には掲載せずに、最近の観察会と比べかなり多方面へのチラシ配布・展示を行ったが、会場や知人からの情報が多く、日頃からの広報活動はまだまの印象で、特にネット社会への地道な継続が必要

4.2 来場者ご感想の抜粋

- ・是非また、もう少し長くやって下さい
- ・美しい植物の写真がたくさんありました
- ・昆虫の顔が近くでじっくりみられたり、キノコの役割が知れ、貴重な体験できました
- ・こんぶくろ池へ行って虫探ししてみたいです
- ・実際に幼虫と触れる事ができよかった
- ・多種多様でおどろいた
- ・いつまでも続きますように
- ・調査結果がわかりやすく勉強になりました
- ・地域でもっと注目されるべきオアシスだと思います
- ・地域の自然を守る活動は素晴らしい、応援します
- ・とても面白い展示でした
- ・草花の写真と押し花を並べて展示、花の大きさがよく理解でき、嬉しかったです
- ・何度もこんぶくろ池に通っていますが、より楽しくなりそうです
- ・これほどせびされて、豊富な動植物があるとは・・・感動いたしました。時々足を運びたいと思います
- ・種類がおおいのにびっくり、機会あれば観察会に参加したい
- ・柏市をあげて生態系、昆虫の保全に興味を持って欲しい
- ・ちょうちよが、ピカピカしてきれいだったです
- ・珍しい植物が柏にもたくさんいるのがびっくりしました
- ・沢山の写真や標本があり見ごたえがありました
- ・沢山の花があることを知り、こんどよく見ながら散歩します
- ・幼虫のお話おもしろかったです
- ・すばらしく美しい写真をみせて頂きありがとうございます
- ・細部まで観察できるのがうれしかったです。多くの方が手をかけられていて、残して頂きたい環境です
- ・自然の豊かさ貴重さに改めて感じる展示でした

5 主催者:感想・今後の改善点

5.1 ギャラリートーク担当者

- M.U.・ こんぶくろの様子を見て頂けただけでなく、来場者の皆様から情報も頂ける交流の場となりました。
- ・まだまだこんぶくろ池自然博物公園の場所が分かりづらいという事もわかりました。
- S.T.・ 行けば必ず出会えるというものではないこんぶくろ池の昆虫の姿を、少しでも感じていただけたのは良かった。
- ・擬態の説明用にアゲハの幼虫やナナフシモドキを展示したが、想像以上にお客様の反応があり、説明や写真だけでは伝わらない、生き物の持つ力の強さを改めて感じた。
 - ・機会があれば、次は是非みんなで持ち寄った写真を撮影者の氏名付きで展示できると良いと思う。
- M.K.・ こんぶくろ池に行ったことが無い、という方も多くいたので行きつけになったのではないかと思います
- ・県民プラザの利用者が多い時期であれば、誘導方法によってはもう少し来場者が増やせたかもしれません。
 - ・でも今回は一人一人の来場者とじっくりお話しする時間も、きのこ情報の交換などもできて良かったです。
- M.Y.・ 来場者は少な目でしたが、本当に興味を持っている方が多く、中味の濃い交流が出来たと感じました。

5.2 企画取り纏者

- ・環境問題・感染症問題等、予想も出来なかった事が起こりうる時代となった現在、当NPOとして基本動作を遵守しながら、創意工夫で、生物多様性に一人でも多く触れて頂くきっかけになれば、との思いで企画した展示会でした。
- ・詳細な(花の構造・和名の由来や虫の特徴不思議さ等)説明を入れる展示方法もありましたが、多様で数量にも重きを置いた展示内容をコンセプトとした結果は、当園は多様な生物に富んだ森であることを伝えられたのではと感じています。
- ・ご来場数は、4日(実質3日間)で175人と当初の計画値の半分程度でありましたが、来場者のご感想を拝見して、上記の私共の思いをご理解して頂いている方々が、多数いらっしゃるのを再認識出来た事が、大きな収穫でありました。
- ・時期的な内容が主因と思われるのですが、都市郊外の森でありながら豊かな自然と保全について、一挙に学ぶ教材を見る機会は少ないと思います。もっと子供達(小学校の生徒達)に見て欲しかった思いは残りました。

改善点:

- ・展示会場を広く使用する計画から、左側のガラスケース前面に展示パネルを置いた事から、昆虫・キノコの展示は照度が不足した状態となった点、会場設定の検討に改善の余地を残した。
- ・同じ、県民プラザでも、2階の回廊ギャラリーは全て壁面展示となり照明の問題は改善でき、ギャラリートークのやり方を工夫すれば、会場の床面積はかなり小さくなるが展示面積は同程度あり、今後での検討余地がある。



今回の主役となった、ナミアゲハの幼虫と一緒に最終日終了後の集合写真